

君津地域水稻情報 「あぜみち第4報」

平成 27 年 7 月 1 日 君津農業事務所 改良普及課
 電話 0438-23-0299 FAX 0438-23-6698
 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/>

★「ふさおとめ」「ふさこがね」は出穂期間近 ★生育の進みに応じた適期作業を！

1 君津地域の生育概況

4月20日植えの「コシヒカリ」は、「ふさおとめ」「ふさこがね」同様、平年よりも早く幼穂形成期を迎えました。ほ場ごとに幼穂長、生育状況を確認し、適切に穂肥を施用しましょう。

4月20日植えの各品種の出穂期は、最も早いところで「ふさおとめ」が7月4日頃、「ふさこがね」が7月6日頃、「コシヒカリ」が7月12日頃と予測されます。しかし、6月中旬の低温の影響により、地域による生育進度の差があるほ場も見られます。ほ場をよく見て、生育の進みに応じた作業を適期に実施しましょう。

2 生育調査ほの調査結果（6月24日または幼穂形成期調査）

品種	年	田植え日	草丈 (cm)	茎数 (/株)	茎数 (/㎡)	単葉葉色	幼穂形成期 ※1
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	27	4/16	59.9	46.2	693.0	39.8	6/9
	平年	4/16	59.7	44.1	659.1	43.3	6/18
	平年比	±0	+0.2	+2.1	+33.9	-3.5	-9
ふさこがね (君津市)	27	4/21	54.9	39.8	752.2	40.7	6/10
	平年	4/19	54.9	33.5	646.0	40.7	6/19
	平年比	+2	±0	+6.3	+106.2	±0	-9
コシヒカリ (君津市)	27	4/22	63.4	38.6	756.6	34.9	6/19
	平年	4/20	65.9	32.8	616.0	33.8	6/23
	平年比	+2	-2.5	+5.8	+140.6	+1.1	-4
コシヒカリ (一発肥料) (富津市)	27	4/19	64.8	40.2	655.3	36.2	6/17
	平年	4/21	69.2	33.0	591.4	38.3	6/24
	平年比	-2	-4.4	+7.2	+63.9	-2.1	-7
コシヒカリ (木更津市)	27	5/8	65.8	34.7	596.8	39.2	7/2
	昨年	4/27	61.7	23.8	502	34.3	6/25
コシヒカリ (一発肥料) (君津市)	27	5/8	58.2	41.8	681.3	39.0	7/6 ※2
	昨年	5/5	61.5	25.4	406	37.2	7/1

※1 幼穂形成期は、幼穂長 1mm となった時で出穂の 25 日前に当たります。

※2 君津市のコシヒカリ一発肥料のほ場の幼穂形成期は予測値。

3 これからの管理のポイント

① 品種別の幼穂形成期と冷害危険期の予測

品種	植付時期	幼穂形成期	冷害危険期予測※1	出穂期予測※2
ふさおとめ	4月20日	6月10日	6月20日頃から	7月5日
ふさこがね	4月20日	6月10日	6月20日頃から	7月5日
コシヒカリ	4月20日	6月17日	6月27日頃から	7月12日
	5月1日	6月27日	7月7日頃から	7月22日

※1 冷害危険期は予測日から8日間。コシヒカリの冷害危険期は君津地域内で最も早い予測日を記載。

※2 出穂期は、君津地域内で最も早い予測日を記載。

② 米の品質向上のための水管理

登熟期の水不足は、減収と乳白米等の白未熟粒の多発生による品質低下の原因になります。特に出穂期～出穂後10日前後は高温の影響を受けやすいことや、自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも、水管理に十分注意しましょう。

● 出穂3週間前から出穂2週間後までは湛水管理

高温時の品質低下を防ぐためにも、この期間は田面が露出しないよう、しっかりと湛水管理を行いましょう。

● 出穂2週間後～出穂25日後までは間断かんがい

米粒の充実と品質向上のために出穂25日後までは、水が必要となります。

③ 農薬の収穫前日数に注意

各品種とも平年と比較して出穂期が早まる見込みです。ほ場ごとの出穂期をよく確認し、出穂期から収穫期までの目安の日数を参考にして、収穫時期の見込みを立て、各農薬の収穫前日数に注意して、農薬を使用しましょう。なお、隣接ほ場の方が収穫時期が早くなることが見込まれる場合は、より慎重に散布を行いましょう。

品種	出穂期から収穫期までの目安
ふさおとめ	33日前後
ふさこがね	37日前後
コシヒカリ	38日前後

※出穂期とは全莖数の40～50%が出穂した日

※目安の日数は平年並みの天候の場合

④ 斑点米カメムシ類の防除

斑点米カメムシ類の成虫は水稻の出穂後に水田に侵入して産卵し、それらの幼虫が乳熟期～糊熟期に籾を吸汁することで斑点米が発生します。出穂期前後の草刈りはカメムシ類を水田の中に追い込んでしまいますので、畦畔雑草は出穂2週間前頃までに刈り取りましょう。今年はお出穂期が早いと予測されますので遅れないよう注意してください。その後、収穫期まで雑草が繁茂しないよう努めましょう。また、侵入した成虫は早めに下記薬剤等で防除しましょう。

【カメムシ類の主な防除薬剤】

MR.ジョーカー粉剤 DL、エルサンバッサ粉剤 20DL、キラップ粒剤、スタークル粒剤、スタークル豆つぶ

※ 次号は「7月31日頃」発行予定